令和4年3月16日発生 福島県沖を震源とする地震の関連情報

り災証明書、被災証明書の申請を受け付けています

問い合わせ税務課家屋担当　電話番号23-2148

　令和4年3月16日に発生した福島県沖を震源とする地震により被災した人を対象に、税務課、各総合支所市民福祉課で、り災証明書、被災証明書の申請を受け付けています。

持ち物　❶本人確認書類（運転免許証など）

❷被災状況を撮影した写真2～3枚程度（スマートフォンなどの画像でも可）

申請場所　税務課または各総合支所市民福祉課税務担当

※手続きについて、不明な点がある場合は、問い合わせください。

▶り災証明書

　各種被災者生活支援制度を受ける際に、住居（居住のために使っている建物）の被害程度を証明するものです。被災者からの申し出により、住居の被害状況の調査を行い、確認した事実に基づき被害の程度を証明します。

▶被災証明書

　住居以外の建物や家財道具、門柱、門扉などの被害状況について、被災写真などに基づき、地震災害の事実を証明する書類です。

広報おおさき4月号2022 No.193

目次

4　　　大崎市長選挙および大崎市議会議員一般選挙

6　　　令和4年度予算のあらまし

9　　　令和3年度大崎市教育委員会表彰

12　　 狂犬病予防注射を忘れず受けましょう

14　　　OSAKI Culture

16　　　オオサキプレイガイド

17　　　オオサキワンダーミュージアム

18　　　くらしの情報　成人用肺炎球菌ワクチンを受けましょう　ほか

28　　　育児相談・乳幼児健診

30　　　相談コーナー

31　　　休日救急当番医　ほか

32　　　おおさき観光写真コンテスト入賞作品発表

パタ崎さんの食育コラム

その12　楽しく感謝して食事をしよう！

問い合わせ 世界農業遺産推進課 電話番号23-2281

食事をするときは、家族や友達など誰かと一緒に食べると楽しいよね。

　今はコロナ禍で黙食が勧められているけれど、食事中に楽しく会話すると、一人で食べるより食事がおいしく感じられて、使っている食材や味付けの話など、料理の話をすることで日々の食卓から食を学ぶことができるんだ。

　食事の前は、「いただきます」、食事の後には、「ごちそうさま」のあいさつを言うよね。

　「いただきます」と「ごちそうさま」には、食事を作ってくれた人や準備をしてくれた人、食材から命をいただくことへの感謝の気持ちが込められているんだ。あいさつは大切だよね。

　食事は空腹を満たすだけでなく、健康な体をつくり、心を豊かにする役割もあるんだよ。

　新型コロナウイルス感染症対策をしっかりしながら楽しい食事をしようね。

**クルーズトレイン**

**「TRAIN SUITE 四季島」が鳴子温泉駅にやってきます！**

　JR東日本が運行するクルーズトレイン「TRAIN SUITE 四季島」が、約2年ぶりにJR東日本 陸羽東線 鳴子温泉駅に来訪します。

　「四季島」来訪に併せて、鳴子温泉街で「湯けむりマルシェ」を開催！美味しそうな匂いと湯の香りに誘われて、ぜひ立ち寄ってください♪

**「湯けむりマルシェ」開催します！**

　鳴子温泉街で大崎地域の特産品などが並ぶ「湯けむりマルシェ」を開催します！

　おむすび・パン・しそ巻き・野菜・工芸品など、盛りだくさんの出店がある「湯けむりマルシェ」は、誰でも立ち寄ることができます。

　大崎の旬の食材や工芸品を購入しませんか。

❖日程　4月21日㈭・28日㈭

 5月12日㈭・19日㈭ ほか

※「四季島」の停車日に開催します。

❖時間　8時～10時30分

❖場所　鳴子温泉ゆめぐり広場（鳴子温泉字湯元94）

**鳴子温泉駅停車日時**

　4月～11月まで合計23回停車します。6月以降の日程は、市ウェブサイトを確認してください。

❖4月～6月の停車日

4月21日㈭・28日㈭　5月12日㈭・19日㈭

6月2日㈭・9日㈭・16日㈭・23日㈭・30日㈭

❖4月～11月停車時間

6時17分着～9時37分発

「TRAIN SUITE 四季島」の来訪を歓迎しませんか

　「四季島」は、陸羽東線や東北本線を通過します。

　事業所や施設などの皆さんでお見送りを希望される場合に、手旗や横断幕を無償で提供します。

　お気軽に問い合わせください。

　問い合わせ トランスイート四季島受け入れ大崎市実行委員会事務局（産業経済部観光交流課内） 電話番号23-7097

市長コラム　天地人 　アフターコロナと地方創生

長引く新型コロナウイルス感染症との闘いは、人々の生命や健康はもとより、社会経済や私たちの日常にも甚大な影響を及ぼしております。

　一月以降も、新型コロナウイルス「オミクロン株」の感染が、ワクチン未接種のを中心に急増し、保育所や小学校等の休園、休業が相次ぎました。

　未だ収束には至っておりませんので、引き続き怠ることなく感染症への対応に取り組むとともに、コロナの一定の収束後を見据えて、アフターコロナへの対応も急ぐべきチャンスと捉えております。

　コロナとの闘いは、失ったものだけではありません。

　パラダイム・チェンジが起こりつつあります。

　首都圏をはじめとする大都市での感染拡大により、人口集中の負の側面が改めて浮き彫りになるとともに、リモートワークなどビジネスのオンライン化の加速や、サプライチェーンの国内回帰、若者を中心とした地方への関心の高まりなど、社会経済情勢や価値観の変化により、人口移動の潮目が変わり、田園回帰現象が起きております。

　こうした動きは、これまで長年にわたり続いてきた東京一極集中の流れを大きく変える契機となり、強靱な産業構造の転換を迫る転機にもなると期待できます。

　本市の強みである首都圏と直結する交通アクセス、都市機能の集積、日本を代表する豊かな里地・里山・食文化を基盤に、新しい技術を活用したデジタルトランスフォーメーションを推進し、政府が提唱するデジタル田園都市国家構想に果敢に挑んでまいります。

　その取り組みが、持続発展可能なまちづくり、すなわち地方創生へとつながってまいります。